

麓山の杜 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

園内の「雪吊り」



ガーデンポイント

【水やり】春先に開花する物は、水分が足りないとともに花を見る事ができません。また、表面が凍ってしまうと水が根まで届きません。寒さに弱い植物を室内に取り込んでおくと、乾燥によって弱ってしまう事があります。特に暖房をつけておく場合は、根だけではなく枝葉にも霧吹きなどで湿らせると良いです。梅の盆栽が乾燥でなえてしまっているのを見かける事もあります。暖かい日の午前に灌水をします。乾燥防止に腐葉土などでマルチング（地面に敷いておく）をするといいですね。

【肥料】多くの樹種は、これからの肥料が今後の生育を左右します。いわゆる寒肥です。緩効性有機質肥料がむいています。裏面で詳細を書きます。

【病虫害防除】アブラムシ、カイガラムシは、この季節でも活動しています。幹などについている時は、ブラシなどでこすり取りその後に殺虫剤を散布します。この季節だけに散布する事ができる薬剤にマシン油乳剤があります。この薬剤は油の膜で害虫を窒息させて退治します。サルスベリやモチノキなどの発生しやすい庭木や果樹類に向いています。果樹農家でも使用しています。しかし常緑のツツジ類に使用した場合、落葉する葉害

3月のみどり講習会

日時：平成28年3月6日（日）

10:00~12:00

場所：とんがりふれあい館ホール

内容：□記念樹の育て方初歩講座

□季節のワポイントアドバイス（樹木の移植のしかたについて）

対象：記念樹申請者、受講希望者



が出る場合があります。以前は冬季に使用した薬剤に石灰硫黄合剤がありました。しかし、葉害などが出やすく現在は使用されるのが少なくなりました。害虫は卵などで越冬している場合もあります。それを取り除いておくことも大事な防除です。落ち葉なども処分しておきます。

【剪定】常緑広葉樹は、まだ早すぎます。暖かくなる3月下旬まで待ちます。落葉樹は、この時期も適期になります。太い枝を切るなどの強めな剪定が可能です。切り口は癒合剤を塗って保護します。カエデ類は、遅すぎます。切り口から樹液が流れ出て弱ってしまいます。花木は、花芽がありますので注意をして剪定をします。針葉樹はマツ類の枝透かしなどはむいています。古葉をとって混み入った枝を剪定するとすっきりとした樹形を楽しむ事ができます。キャラボクやチャボヒバは3月まで待ったほうが無難です。その他のコニファー類も同じです。

【植え替え】常緑広葉樹は、暖かくなる3月まで待ちます。常緑針葉樹はこれからが適期となってきます。落葉樹は適期が続いています。しかし、カエデ類やボタンなどの例外もあります。ただ植え替え時は根と土がばらけないようにきっちりと根巻を施します。また、植えた時も含め灌水は特に必要ですので、寒いからといわずあげるようにします。

【防寒】寒さに弱い植物はまだ養生が必要です。そして、これからは湿った重い雪が降り積もる可能性が高まります。枝折れを防ぐには早くに雪下ろしが必要になります。

【土壌改良】春になったら植物を植え始めたいと思っている場合は、寒い間から作業を行っておきます。本来は、秋遅くに行うのがベストですが、これからでも間に合います。土を掘り起こして堆肥などの有機質を混ぜ込みます。その時に出てき

た石片や雑草の根などは取り除いておきます。寒さによって土が崩れて柔らかくなり易く、害虫や雑草も退治されたりします。なるべく深く掘り起こすことによって、土壌の通気性や排水性も改良されていきます。このような地道な作業が、植物の成長を助けます。

【除草】雪解け後には、雑草を見つけ次第取り除いておきます。そうすると春先からの雑草の繁茂が防げますし、肥料が吸収される心配もありません。



【寒肥について】

これからの時期にあげる肥料によって植物の育ちは大いに違います。私は去年のこの時期に油粕を撒いたのですが春の芽の伸びや葉の色に格段の違いがありました。寒肥に使うのは有機質の緩効性肥料（骨粉入り油粕など）や有機質を含んだ緩効性化成肥料（成分が8-8-8などのもの）が適しています。速効性ではありませんよ。寒い間にあげてちょうど春先に植物が吸収する時に効くようにします。面倒ですがその時に土を掘って肥料を混ぜ込むことが根を更新する効果もあります。



【街で見かけた植物】

ミヤマシキミ（ミカン科ミヤマシキミ属）

常緑広葉低木で暖かい地域の林に自生しています。福島県以南ですよ。葉には光沢があり花は4月から5月にかけて開花します。花は外側が紅色で内側が白色です。雌雄異株ですが赤く色づく実には毒があります。しかし日陰でも育つために庭木として利用されています。ただし名前は似ていますがシキミとはまったく違う植物です。



♠ みどりのつばやき ♠

皆さん、樹木医ってどんなお仕事かご存知ですか。樹木医の字のとおり、樹木の管理や病気の治療、後継樹の育成などを行う専門家の資格で、なんと今年、県内初夫婦の樹木医が誕生しました。

以前、害虫の被害にあった花木の枝を切除しようとしたとき、ある樹木医のかたに「根元が、まだ緑みどりして元気なので、切らずにしばらく様子を見ましょう。」と言われて、そのまま様子を見ました。その後、害虫被害も広がらずに今も元気に成長しています。植物も人間も、自分で治癒しようとする力があります。悪いからダメ！と決める前にみどり講習会に参加して、樹木医に相談してみませんか。